

学校だより



楓っ子

多可町立中町南小学校
 令和4年2月4日(金)発行
 ホームページアドレス
<https://www.town.taka.lg.jp/minamisho/>
 E-mail: naka-minami@edu.takacho.jp
 電話 32-0011

春の訪れが少しずつ一節分について

学校長 足立 徳昭

「鬼は外、福は内！」と豆まきの声がる2月の節分。節分とは、季節の分かれ目を指し、もともとは、立春、立夏、立秋、立冬の前の日を言いました。今では、豆まきの風習が残っている2月の立春の前日だけを言うようになりました。立春とは、春が立つと書きます。はじめて春の気配が現れる意味です。旧暦では、このころが1年の始まりでもありました。まだまだ寒い日が続く時期ですが、日差しの強さに春の訪れを感じ始める頃でもあります。

節分には、昔の家庭では、終の枝にイワシの頭を焼いたものをさし、門戸にはりつけました。季節の変わり目には邪気(悪い気)が入りやすいとされていたので、それを追い払うためにこのような飾りをつけたり、大豆のいったものをまいたりしました。今でも豆まきの風習は残っていて、皆様のご家庭でも行われているのではないのでしょうか。そして、豆まきの後、自分の歳より一つ多くの大豆を食べます。最近では、恵方(幸運を招く方向)を向いて、太巻きを丸かじりする関西の風習も人気があるそうです。

春の訪れを嬉しく思う気持ちは、世界共通なものでもあります。スイスのバーゼルという街では、ファスナハトという有名なお祭りがあります。人々が仮装してパレードを行い、厳しい冬を追い出し、春を迎えるお祭りです。道路狭しとパレードする人々の姿は圧巻だそうです。長い冬の後にはやってくる春の穏やかな季節は、寒い地方の人々にとっては、大きな喜びでしょう。

春は、もうすぐそこまで来ています。現在、新型コロナウイルスによる第6波により兵庫県ではまん延防止等重点措置法が適用され、いろいろと制限を設けられた中での学校生活になりますが、児童も教職員も健康に気をつけて1年のまとめである3学期を乗り切りたいと思います。保護者の皆様におかれましても、体調管理を十分にし感染症にはくれぐれも気をつけていただきますようよろしくお願いいたします。



2月の行事予定

日	曜	行事予定
1	火	いのちと人権の日
2	水	委員会活動
3	木	定時退勤日
4	金	SC
5	土	
6	日	
7	月	朝会
8	火	放課後子ども広場 福祉体験学習(4年) こころの健康教育(6年月組)
9	水	
10	木	登校指導 定時退勤日
11	金	建国記念の日
12	土	
13	日	
14	月	楓っ子タイム チャレンジ学習週間(20日まで)
15	火	こころの健康教育(6年雪組) 放課後子ども広場
16	水	
17	木	定時退勤日
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	朝会 なかよし遊び
22	火	ありがとう集会 放課後子ども広場 下校指導
23	水	天皇誕生日
24	木	大掃除 定時退勤日
25	金	P T A 委員総会
26	土	
27	日	
28	月	委員会活動

※SC(スクールカウンセラー) 来校

3月の主な行事予定

- 1日(火) いのちと人権の日
- 3日(木) 児童会役員選挙
- 4日(金) SC
- 7日(月) 楓っ子タイム
- 10日(木) 登校指導
- 11日(金) SC
- 15日(火) 下校指導
- 18日(金) 大掃除
- 21日(月) 春分の日
- 22日(火) 給食最終日 卒業式の準備
- 23日(水) 卒業式
- 24日(木) 修了式
- 25日(金) 春季休業日
(~4月6日まで)

卒業式の日程について

- 日 時: 令和4年3月23日(水)
9:30開会
- 参加者: 保護者(2人以内)
5年生児童(体育館)
3・4年生児童
(各教室でリモート参加)
- 来賓: 多可町役場代表
多可町教育委員
多可町教育委員会事務局
- 1・2年生の児童について
卒業式当日は、登校せずに自宅学習。
- 3~5年生の下校 11:00
※6年生を見送った後下校します。

本年度もコロナ禍のために、1時間以内に縮小して卒業式を実施します。なお、保護者の皆様には、お子様の晴れの姿を祝っていただくために、2人までの参加を許可していますのでよろしくお願いいたします。



人権作文 第3弾

「福祉学習をして」 5年

私は、4年生の時に福祉学習で視覚障害者の体験をしました。視覚障害とは、どういうことなのか少し分からなかったので調べてみることにしました。すると、このようなことが書いてありました。「視覚障害とは、病気やケガ等が原因で目が見えなくなったり、見えにくかったりすることです。」と書いてありました。

実際に、アイマスクをつけて体験してみました。友だちに支えてもらいながら、廊下や階段を歩きました。いつもの学校だけれど普段とは全然違って、歩くのが大変でした。廊下はまっすぐだから、以外と速く歩けるかなと思っていたけど、いつもの感じとは違ってすぐに横に行ってしまうと通りに行きませんでした。階段は、つまずくかもしれないからとても怖かったです。でも登る方は、あまり思っていたよりも怖くなくて、ゆっくり落ち着いて登れました。下りる方は、どこまで段があるのか分からないのでとても怖かったです。でも、視覚障害の人は、目が見ていないのに私たちよりも速く歩いていたので、すごいなと思いました。

次に、点字体験をしました。点字はさわるだけで、言葉を理解しないと行けません。それに、一つ一つの文字の点の位置が違うから覚えるのがとても大変です。だから、私は点字を覚えられるようにがんばりました。でも、手の指先の感覚だけでは、どの位置に点があるのかが分かりませんでした。でも、視覚障害をもっている人は、手の指先の感覚をたよりに言葉を理解して生活しているので、とてもすごいなと思いました。

私は、体験した二つのことをきっかけに一つ気になったことがあります。それは、視覚障害の人が、世界中に何人いるかです。早速調べてみると、世界中には約2億5300万人の人が視覚障害者だと分かりました。私はこの数を見て、とても驚きました。なぜかという、世界中にはこんなにも多くの人たちが目が見えなくなっていたり、見えにくくなっていたりしているからです。私は、こんなにも多くの人たちが視覚障害者だとは知らなかったもので、びっくりしました。さらに調べてみると、約3600万人の人たちが目が全く見えないと書いてありました。目が見えないとあまり歩けないし、物もどこにあるのかが分からないので、生活がとても大変だろうなと思いました。

私は、視覚障害者のことをあまり知らなかったけど、この体験を通していろいろ知ることができました。体験では、視覚障害者の人の気持ちを考えることができました。実際に体験してみると、思っていたこととは全然違って、実際体験をすることによって、もっと視覚障害者の人のことが分かるのだと思いました。これからも、視覚障害者の人たちを大切に見守っていきたいなと思いました。体験したことを忘れないようにして、視覚障害者の人がいたら、手をかして助けたいと思いました。

表彰コーナー

【第27回杉原紙年賀状全国コンクール】



2年（銅賞）



3年（銅賞）

多可町では、毎年小中学生が、地元の手漉き和紙杉原紙発祥の地のイベントとして、全児童生徒が応募しています。

本校からは、冬休みの宿題等で取り組んだ作品を出品しました。

防災訓練（全校生）

1月25日（火）、地震を想定した防災訓練を行いました。訓練では、実際に地震が起こったと想定し、子どもたちは机の下に身を隠し頭を守る行動をしました。その後、座布団を頭にのせ、避難するために廊下に並びました。本来であれば、運動場に出て整列する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために廊下で並び、人数点検をして全学級の安否確認ができた時点で訓練を終了しました。訓練の後は、阪神淡路大震災で犠牲になった人に対して、黙祷を捧げました。また、校長からは、地震が起きた時に困ることについての話がありました。「水」がでなければ・・・。「電気」がとまったら・・・。など、いざという時のために、一人一人が考えておくことが大事であるという話を聞きました。最後は、児童一人一人が「防災検定」に挑戦し、訓練のまとめをしました。



コロナ禍の中での音楽授業（全校生）

1月27日（木）に、兵庫県では新型コロナウイルス感染拡大防止のために、まん延防止等重点措置が適用されました。このため、音楽の授業は、合唱やリコーダー・鍵盤ハーモニカを一旦中止しました。その代わりに、ハンドベルやアコーディオン、木琴、鉄琴などを使用して、音楽の学習に取り組んでいます。主な学習の流れは、①ベルやトーンチャイム等を使いながら階名を覚える②木琴や鉄琴などを使って合奏する③拍をとりながらリズム遊びをする④いろいろな曲を聴いて感じたことをまとめる等で進めています。歌えないのは残念ですが、先生の指導で楽しくリズムに乗って音楽の授業を楽しんでいました。また、3学期から音楽室のカーペットも新しくなり、子どもたちは「いい感じ」「温かい感じがする」などの感想を持ち、居心地の良い音楽室でがんばっています。

